

# IGM RNA Biofunction Seminar

eIF5類似タンパク質5MPによる  
翻訳制御

浅野 桂 博士

Professor  
Division of Biology,  
Kansas State University, USA

真核細胞における翻訳は非常に複雑かつ巧妙に制御されており、近年様々な生理現象、さらに癌をはじめとした疾患の発症に深く関わっていることが明らかになってきました。今回のセミナーでは、米国にて長年翻訳制御の分野の第一線を走り続けておられる浅野桂博士をお招きして、最新の研究成果と今後の展望をお話しいたします。

2015年6月18日 (木)  
17:30~18:30  
医学部北棟5F セミナー室

連絡先：遺伝子病制御研究所 RNA生体機能分野 廣瀬 哲郎 内線6956